

妥当性	妥当である	妥当である	妥当である	妥当である	妥当である	妥当である
行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	市民への情報提供は必要である。	市民が市政に関する情報を得るのに必要と思われる。		市政を市民に伝える重要な手段の一つである	ホームページで紹介しているので月1回に減らすべき。	市側からの発信が殆どであり行政が負担すべきである。
有効性	多くの市民に影響がある	多くの市民に影響がある	多くの市民に影響がある	多くの市民に影響がある	特に影響はない	一部の市民に影響がある
廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか	全戸配布の現状から影響が大きい。	紙媒体のみによって市政情報を得ている市民にとって市政情報の入手手段がなくなってしまう恐れがある。			読者を把握すべきと考えます。	・老人、ネットの苦手な人 ・月2回を1回にすることで、伝わらない情報を得なければならない人
効率性(1)	現状のままでよい	現状のままでよい	削減の余地がある	現状のままでよい	削減の余地がある	削減の余地がある
サービスを低下させずに総事業費を削減できないか		提供する情報の量と鮮度を維持するためにも、広報紙は月2回発行すべきである。	発行回数の見直し(月2回→1回)			・サービスの低下を承知で実行する理由 ・ネット移行など代替えの周知
効率性(2)	判断できない	現状のままでよい	外部委託や統合により削減の余地がある	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい
外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減はできないか	外部委託することによってのメリット・デメリットを考えるべき		議会だより発行事業「きずな」について内容が広報みよしと重複する部分が見受けられる。			・外部にすれば増加 ・それならタブレットを配布した方が得策
公平性	適正である	適正である	適正である	適正である	住民負担を減らすべきだ	判断できない
受益者負担は適正か						
総合評価	継続して実施	継続して実施	改善	継続して実施	縮小	縮小
評価の理由 意見・提言	外部委託を検討する余地もあり、コストや他の面でのメリットなど検討を要す。また配布方法などネット化への本格導入も近い将来行うことになると思う。配布回数を減少させるために発行回数を減らすことは良い、しかし問題も生じるようなので要検討。	インターネット等代替手段は考えられるが、紙媒体のみによってしか市政情報を入手できない人々の存在を無視するわけにはいかない。これまで提供してきた市政情報の量と鮮度を保つためにも、現状の月2回発行はやむを得ず、当該事業は継続して実施すべきである。	情報内容について見直し(特に市民生活に必要なもの)を行い発行回数を月1回にされたい。	発行回数の軽減、紙面の軽減等の改善もあるが、当面は現状のままとしたい。	電子媒体を活用することによって回数、ページ数を減らすべきと考えます。	・削減理由に「職員への負担」は出さないで欲しい。 ・広報の後ろ側から見ていく情報をどうするか ・何が何でも1回にするか、1回プラス情報のみのハーフ広報にして、1回半に？

事業名 生涯学習活動事業

妥当性	判断できない	妥当である	行政の関わる範囲を限定 (対象を縮小)すべき	妥当である	妥当である	行政の関わる範囲を広げる (対象を拡大)べき
行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	生涯学習活動をコミュニティ機能強化に結びつける必要があるものの、成果が出ていない様子から市全体的にコミュニティ自主活動の在り方を考えることが必要。	市民の生涯学習活動を積極的に推進することは、より充実した市民生活を送るためにも十分に意義がある。			行政のPR不足があると思われる。	・コミュニティを広げるためにはあるといいでしょう。 ・でも面倒なので、参加を促す良い方法を・・・
有効性	一部の市民に影響がある	一部の市民に影響がある	特に影響はない	一部の市民に影響がある	多くの市民に影響がある	一部の市民に影響がある
廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか				事業規模が小さいので影響は少ない。	コミュニティ推進協議会の活動が重要である。	・毎年同じことでもいいのでは ・例年の催しを踏襲するのは得意
効率性(1)	判断できない	現状のままでよい	判断できない	現状のままでよい	現状のままでよい	増加させるべきだ
サービスを低下させずに総事業費を削減できないか	もう少し様子をみるべきか？					・今より額を下げるのは無理・・・ ・増加させるのにお金は必要
効率性(2)	判断できない	現状のままでよい	判断できない	外部委託や統合により削減の余地がある	現状のままでよい	判断できない
外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減はできないか				類似の事業との統合を検討する。		
公平性	判断できない	適正である	判断できない	適正である	適正である	住民負担を減らすべきだ
受益者負担は適正か						市の補助金を増やしましょう。
総合評価	継続して実施	継続して実施	廃止・休止を検討	統合	継続して実施	拡大
評価の理由 意見・提言	コミュニティ強化によって住民の市政参加を促すことは重要である。しかし市民意識の向上には時間を要するので、しばらくは継続すべき	当該事業の意義・必要性は十分に認められるが、補助対象となる団体数が少ないように思われる。この点に関しては、今後何らかの工夫・対策が必要である。	予算執行率は毎年非常に低いので、事業を廃止する方向で検討すべきではないか。	類似の事業との統合が望まれる。		・一般への周知と、区長の理解を推進 ・曖昧⇒分かりやすく ・区長の関わる部分では市の窓口が分かりにくいですね。

事業名    パパママ教室事業

妥当性	妥当である	妥当である	妥当である	妥当である	妥当である	行政の関わる範囲を広げる (対象を拡大)べき
行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	出生率増加のため育児体制の充実が必要	住民が安心して暮らせるまちづくりを実現するためには必要である。		初めて子を持つ両親にとっては重要な情報を得ることができる。	粘り強く事業を実施することにより参加者も増加すると思われる。	お年寄りを大切にして、倍して子供を大切に
有効性	一部の市民に影響がある	多くの市民に影響がある	一部の市民に影響がある	多くの市民に影響がある	一部の市民に影響がある	一部の市民に影響がある
廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか				大変有効である。		どんな時、場合でも影響が無いように
効率性(1)	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい	増加させるべきだ
サービスを低下させずに総事業費を削減できないか						より良い方向に向けて、費用負担が増加してもいいのでは
効率性(2)	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい	判断できない
外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減はできないか				「子育てサポートガイド」はすばらしい。より充実を望む。		
公平性	判断できない	適正である	適正である	適正である	適正である	適正である
受益者負担は適正か						
総合評価	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	拡大
評価の理由 意見・提言	父性の育成強化をしつつ、祖父母の参加も促し地域の育児体制の強化も行うべき。	当該事業の意義・重要性は十分に認められる。継続して実施すべきであるが、夫婦での参加を促すためにも教室の開催日を有職者の参加しやすい曜日にする等の工夫・考慮が必要と思われる。	対象者に教室内容の周知を図り、継続して実施されたい。	開催回数、曜日を充実することにより、より参加を容易にしてほしい。	親の参加数の増加をするために休日に実施するような努力をしてください。	子ども増加のための策をドンドン考えましょう。

事業名 防災訓練開催事業

妥当性 行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	妥当である	妥当である	妥当である	妥当である	妥当である	妥当である
有効性 廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか	多くの市民に影響がある	多くの市民に影響がある	多くの市民に影響がある	多くの市民に影響がある	多くの市民に影響がある	多くの市民に影響がある
効率性(1) サービスを低下させずに総事業費を削減できないか	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい	増加させるべきだ
効率性(2) 外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減はできないか	現状のままでよい	現状のままでよい	外部委託や統合により削減の余地がある	現状のままでよい	現状のままでよい	判断できない
公平性 受益者負担は適正か	適正である	適正である	判断できない	適正である	適正である	判断できない
総合評価	継続して実施	拡大	改善	継続して実施	継続して実施	拡大
評価の理由 意見・提言	防災に関してはコミュニティ組織の強化による地域一体化が求められ、避難体制の確立が早期に必要となっている。その為の防災訓練も地域ごとで必要である。	大震災の発生が予想されているので、できる限り万全な体制を整えるためには必要不可欠な事業である。コスト面での効率性よりも安心・安全のための十分な体制づくりを優先するべきである。	各コミュニティごとに防災訓練が実施されているが、より多くの市民が参加できるように行政区ごとに改め、訓練内容についても地域にあった訓練内容に改善されたい。	地区自主防災会は行政区役員で構成されている。従って毎年大幅に交代するのは止むを得ない。従って消防分団員が中心になって運営する。	日頃の訓練により住民の意識向上が図れる。	・みよしでも水害が増加しそう。 ・福田の排水ポンプの見学がしたいですね。

事業名 協働によるまちづくり推進事業

妥当性	妥当である	妥当である	妥当である	行政の関わる範囲を限定 (対象を縮小)すべき	行政の関わる範囲を限定 (対象を縮小)すべき	妥当である
行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	市民にとって行政の関わりが大切である。行政に頼るだけでなく、市民の自律性を養い行政に協力する姿勢も肝要であろう	活力のあるより良いまちづくりのためには妥当である。		支援は活動の場所提供などでよい。	行政が手を出しすぎと思われる。	市民への協働活動などのため行政の介入は必須である。
有効性	一部の市民に影響がある	多くの市民に影響がある	一部の市民に影響がある	一部の市民に影響がある	特に影響はない	一部の市民に影響がある
廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか						一部だけでなく、もっと多くの市民が関係するように団体を育成できると良いですね。
効率性(1)	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい	判断できない	削減の余地がある	判断できない
サービスを低下させずに総事業費を削減できないか						あまりお金をかけないようにしたいですね。
効率性(2)	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい	判断できない	外部委託や統合により削減の余地がある	判断できない
外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減はできないか					民間に委託すべき	
公平性	適正である	適正である	適正である	適正である	住民負担を減らすべきだ	判断できない
受益者負担は適正か				自主的な活動は自己負担でよい。		参加者をよく見極めて、公平性も重視して。
総合評価	継続して実施	継続して実施	継続して実施	改善	縮小	拡大
評価の理由 意見・提言	協働意識を高め、協働体制と市民の意識を醸成するにはかなりの時間とエネルギーを要する。数年間は現状のままで実施し問題があれば少しずつ修正することが妥当であろう。	当該事業の理念や妥当性は十分に認められるが、「協働によるまちづくり」の目指す具体的な姿が想像し難いので、今後は住民に対して十分な説明が必要と思われる。	NPO等の市民活動団体との協働によるまちづくりのために必要な事業である、今後も継続して事業を実施されたい。	市民活動に補助金が必要か疑問である。行政は活動の会場の提供程度で十分と思う。行政が関与しては自主活動でなくなる。	行政が取り組みれば民間のできる範囲が狭くなるため。	協働と文言への理解が得られないので、市民意識を高め、コミュニティー、生きがいを進めてほしいですね。

事業名 街路樹維持管理事業

妥当性	妥当である	妥当である	妥当である	妥当である	行政の関わる範囲を広げる (対象を拡大)べき	妥当である
行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	緑地の維持は景観や温暖化対策として必要である。	街路樹は道路施設に該当するので管理は市が行うべきである。		市民生活に重要な事業である。	市民、NPO、ボランティアを活用し景観事業を展開する。	市民に協力を得ることは難しいでしょうね。
有効性	多くの市民に影響がある	多くの市民に影響がある	多くの市民に影響がある	多くの市民に影響がある	多くの市民に影響がある	多くの市民に影響がある
廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか				廃止・休止できない。		
効率性(1)	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい	増加させるべきだ	増加させるべきだ
サービスを低下させずに総事業費を削減できないか					NPO、ボランティアを活用した景観づくりを考えては	
効率性(2)	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい	外部委託や統合により削減の余地がある	判断できない
外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減はできないか						
公平性	適正である	受益者がいない	受益者がいない	適正である	適正である	受益者がいない
受益者負担は適正か						
総合評価	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	拡大	拡大
評価の理由 意見・提言	緑化事業の一環として街路樹管理は必要であるが、市全体の景観の観点から考えてみる必要もあろう	街路樹の管理方法に改善の余地があるが、毛虫の駆除や落ち葉の処理については対応が不可欠であるので、継続すべきである。	剪定や草刈りなどを適切に行い良好な道路環境維持に努めるとともに、歩行者、自転車などの通行の安全を確保されたい。(ごみの集積場などの使用許可)	道路を安全に利用するためには重要な事業である。より充実を望みます。	都市景観は自治体の顔である。市民と行政が一体となり維持管理すべきと思う。	道路全体の維持費と併せて、万全な管理をお願いします。